

令和 7 年度（2025）

学校関係者評価報告書

学校法人 穴吹学園

専門学校 穴吹動物看護カレッジ

# 令和7年度 学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園専門学校穴吹動物看護カレッジ 学校関係者評価委員会は、令和6年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

令和8年1月29日

学校法人専門学校穴吹動物看護カレッジ  
学校関係者評価委員会

## 1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校穴吹動物看護カレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹動物看護カレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

## 2. 学校関係者評価委員会（委員一覧）

（委員）

森川 崇 香川県立観音寺中央高等学校 元校長  
喜多 泰三 香川県立農業経営高等学校 校長  
高田 有基 アシル動物病院 院長  
吉田 朋美 専門学校 穴吹動物看護カレッジ 保護者会 支部長（別日対応）  
入江 俊介 学校法人 穴吹学園 卒業生

（学校教職員）

岩澤 正俊 専門学校穴吹動物看護カレッジ 校長  
戸倉 潤也 専門学校穴吹動物看護カレッジ 副校長  
林 勇樹 専門学校穴吹動物看護カレッジ 課長  
森 純子 専門学校穴吹動物看護カレッジ 課長代理

## 3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和8年1月28日（水）14：00～15：00

開催場所 学校法人専門学校穴吹動物看護カレッジ 会議室

## 4. 自己評価結果の説明・報告（自己評価報告書参照）

当校の「教育理念」、「目的」及び「令和6年度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果（総括）」、「取組状況とその分析」、「今後の改善方策」等について報告。書式は、香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式にて実施。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である  
「D」不十分である の4段階にて評価。

## 5. 意見交換、質疑応答

### ○ 卒業生アンケートについて

特にこだわっているところはどこか？

→ 学校の質についてはこだわっているが、特に卒業生が学校に満足をし、他に希望する人がいれば「本校を勧めたい」という項目について重視している。さらに DP に合致する学生を育てるために学校として取り組んでいく。

### ○ 新しくなった HP について

どういった意図でリニューアルをしたか？

→ 昨年度 HP のリニューアルをして、学校のアピール力を強くするように取り組んできた。まだまだ改善の余地があるため、しっかりと見直し、機会損失にならないよう改善していく。

### ○ 学生支援（いじめへの対策）について

具体的にどのような対策を行っているか？

→ 授業の中での指導や、警察に来ていただき SNS による被害状況などの講習会を実施した。本校は教員と学生の距離が近いこともあり、何かあった場合に学生がすぐに教員に相談しやすい環境がある。さらに組織全体としての対応やスクールカウンセラーによる対応によって状況の改善を試みている。様々な方策を今後も検討していく。

### ○ 教育理念の理解度について

学科によって教育理念への理解度に差があるのはなぜか？

→ 入学前から様々な形で教育理念に沿った内容を伝えているが、学年やクラスによって理解度に差があることが分かった。今後は学校全体として、意見にあつたように繰り返し伝え、浸透していくよう努めていく。

### ○ 学校行事について

学校として様々なものに取り組み経験できる環境を創出しているか？

→ 教育での体験や経験が重要視されており、本校としてもその重要性を実感している。何かを判断するときに自分自身の経験を基に判断していく。正しい判断が学生個々にできるよう多くの経験ができる機会を学校でもさらに作っていく。

### ○ 愛玩動物看護師国家試験について

受験される社会人は増えたか？

→ 大きな変化はないと感じる。ただ、今後専門学校が単位制になり様々な仕組みに変化が生まれたときに学び直しとして動物分野に興味をもつ人も増えていくのではないかと予想している。その受け皿となるべく教育、仕組みを検討する。

貴重なご意見を賜り誠に有難うございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力して参りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

以上